

【学級活動】での活用事例

(中学校 全学年)

【活用した資料】

- 中学校版「心みつめて」 p.152 第三章「公正、公平な態度で、正義の実現を！」

【学習指導要領に示されている道德の内容】

- 4-(3)「正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。」

● 生徒会活動

ふれあい月間の時期に、学校と生徒会とが協同して「いじめ撲滅キャンペーン」を実施しました。生徒自らがよりよい学校をつくっていけるように、生徒会が「みんなが認め合い、明るい、楽しい学校」というスローガンを掲げ、その実現のために自分たちにできることを各学級で考え実行していくという取組を行いました。

これに合わせて学校は、全校朝礼で校長が「心みつめて」第三章 p.152「公正、公平な態度で、正義の実現を！」に掲載されている「什の掟」についての講話を行い、偏見や差別、不正な行為を許さない心・態度をもった人であるよう、生徒に訴えました。

● 学級での取組

学級活動で「心みつめて」第三章 p.152「公正、公平な態度で、正義の実現を！」を活用し、話合いのきっかけとしました。

「什の掟」や「いじめ撲滅宣言」を全員で読んだ後、望ましい人間関係を形成するために、今、学級の一人一人がやれることは何かを、具体的に考えさせました。

生徒からは、

- ・自分の言葉や行動を相手がどう受け止めるかをいつも考えるようにする。
- ・自分がされていやなことは、相手にも絶対にしないようにする。
- ・仕事をしている人がいたら手伝う。手伝えなくても声を掛ける。
- ・この行動は正しい行動かを考えながら行動する。
- ・「おはよう」「大丈夫？」「お疲れ様」など、ちょっとした声掛けを大切にする。

といった意見が挙げられました。

誰もが皆弱さや醜さをもっていること、それを互いに補い合いながら生きていること、どんな小さなことでも実行していくことが大切だということなどを、生徒一人一人が自分の身に置き換えながら確かめることができました。そして、一人一人が自分にできることを実行していく指針として、学級で「いじめ撲滅スローガン」を作成しました。

● 全校集会と校長講話

全校集会で、学級ごとに作成した「いじめ撲滅スローガン」を発表させ、全校でいじめの撲滅に取り組んでいく思いを確かめ合いました。

全校集会の最後に、校長が「心みつめて」第三章 p.152の「ならぬことはならぬもの」の部分を引用しながら講話をし、生徒一人一人の行動で正義を実現させていけるようエールを送りました。